

外来化学療法情報提供書（トレーニングレポート）

御中 主治医 科 先生

患者ID： 患者名： 患者生年月日： 年 月 日

処方日： 年 月 日 レジメン： 抗がん剤の内服薬 あり・なし

聞き取り日： 年 月 日 対応者： 患者 家族 その他（ ）

状況： 調剤時 患者から問い合わせ テレフォンフォローアップ時

当薬局でフォローアップした情報を提供させていただきます。 報告日 年 月 日

服薬状況	抗がん剤、支持療法薬の飲み忘れ・スキップ あり・なし					
	服用できなかった理由					
患者同意	<input type="checkbox"/> 取得した <input type="checkbox"/> 取得していないが治療上必要な為報告する					
irAE自覚症状（ICI投与時に確認する）						
<input type="checkbox"/> 症状なし <input type="checkbox"/> 症状あり <input type="checkbox"/> 具体的な症状：						
有害事象状況（副作用状況）						
37.5度以上の発熱	未確認	なし	あり	抗生剤の使用状況と経過：		
間質性肺炎の症状	未確認	なし	あり	息苦しい 息切れ 咳嗽（痰なし）		
症状		Grade評価			発現時期	詳細や支持療法の効果、使用状況等
悪心	未確認	なし	1	2	3	
嘔吐	未確認	なし	1	2	3	
食欲不振	未確認	なし	1	2	3	
口腔粘膜炎	未確認	なし	1	2	3	
下痢	未確認	なし	1	2	3	
便秘	未確認	なし	1	2	3	
倦怠感	未確認	なし	1	2	3	
疼痛	未確認	なし	1	2	3	
	未確認	なし	1	2	3	
	未確認	なし	1	2	3	
	未確認	なし	1	2	3	
	未確認	なし	1	2	3	
	未確認	なし	1	2	3	
薬局薬剤師 評価・提案						
薬局名：	TEL：	FAX：	薬剤師：			

* 副作用の評価については別紙の「有害事象評価用」を参照して評価する。

有害事象評価用

irAE自覚症状の確認 (ICI投与時に確認)			
まぶたが下がってくる 物が二重に見える 筋肉痛がある	➡ 重症筋無力症の可能性	下痢が続く 便に血が混じる	➡ 大腸炎の可能性
息苦しい 咳が増えた 37.5℃以上の発熱	➡ 間質性肺炎の可能性	かゆみがある 湿疹が出ている	➡ 皮膚症状の可能性
のどがよく乾く おしっこの量が増える	➡ 1型糖尿病の可能性		
有害事象 (副作用状況)			
症状	Grade1 (軽度)	Grade2 (中等度)	Grade3 (高度)
悪心	食欲が低下 食生活は変わらない	経口摂取量の低下	食事や水分が 摂れない
嘔吐	1日1-2回の嘔吐あり	1日3-5回の嘔吐あり	1日6回以上の嘔吐あり
食欲不振	食欲は落ちているが 食生活は変わらない	食事が減った	食事が減り、 体重減少がある
口内炎	症状はあるが 生活に影響がない	痛みはあるが 食べることができる	痛みが強く 食べれない
下痢	普段より排便多い 1日3回以下	普段より排便が 4~6回/日多い	普段より排便が 7回以上/日多い
便秘	時々ある、下剤を 不定期に使う	常にある 下剤、浣腸を定期的に使用	排便を要する 日常生活に影響
倦怠感	だるさがある	家事や仕事などに 影響がある	身の回りの日常生活に 影響がある
疼痛	日常生活に 影響がない	家事や仕事などに 影響がある	身の回りの日常生活に 影響がある
末梢神経障害 (プラチナ系、タキサン系等)	日常生活に 影響がない	家事や仕事などに 影響がある	身の回りの日常生活に 影響がある
手足症候群 (カベシタピン等)	疼痛のない皮膚変化 (赤み、むくみなど) 皮膚炎	疼痛を伴う皮膚の変化 (水疱亀裂など) 生活に支障あり	疼痛を伴う高度な皮膚 変化(水疱、亀裂など) 日常生活に影響
皮膚色素過剰(色素沈着) (S-1等)	体表面積 ≤ 10%色素沈着 (心理的影響なし)	体表面積 > 10%色素沈着 (心理的影響あり)	
ざ瘡様皮疹 (抗EGFR抗体薬、EGFR-TKI等)	疼痛、掻痒なし 日常生活には気にならない	疼痛、掻痒時々あり 症状について他人から指摘 される	疼痛、掻痒を常に感じる 他人との面会が億劫である
爪囲炎 (抗EGFR抗体薬、EGFR-TKI等)	軽度の発赤、腫脹	発赤、腫脹による痛み 肉芽形成を認める	身の回りの日常生活に 影響がある
浮腫	軽度の浮腫 よく見ると気付く	見てすぐわかる	輪郭の異常が著明
高血圧：自宅での測定 (抗VEGF阻害薬等)	収縮期120~139mmHg or 拡張期80~89mmHg	収縮期140~159mmHg or 拡張期90~99mmHg	収縮期160mmHg以上 or 拡張期100mmHg以上
筋力低下 (力が入りにくい)	日常生活に 影響がない	家事や仕事などに 影響があ	身の回りの日常生活に 影響がある
眼障害 (S-1等)	S-1による流涙 ➡	ヒアルロン酸フリー・防腐剤フリーの人工涙液点眼による Wash out (点眼回数 4-6回/day)	

* 赤枠は必須評価項目、赤枠以外は抗がん薬の種類によって判断する。